

6月議会が始まります

一般質問は16、17日10時から1日4人が質問

2016年6月議会が14日10時から開会します。一般質問については、16、17日に行われ、1日4人ずつ8人が予定されています。日程の詳細については、議会運営委員会で決定次第お知らせします。

井之川博幸議員の一般質問要旨

17日午前11時半頃

1、真に持続可能なまちづくりに向けて、ゼロ・ウェイスト（ごみゼロ）宣言自治体をめざす



井之川博幸市議

ア 本市のごみ処理の状況について

- ① 本市における最近10年間のごみ排出量（収集量でも良い）の推移について及び減少率について
- ② 資源物の占める割合について、またリサイクル率について
- ③ 本市における廃棄物処理にかかる年間経費総額と一人当たりの費用について
- ④ 沼田市外2か村清掃施設組合で実施している本庁白沢分の平成17年度のごみの量とそのうち焼却した量と焼却経費総額と当時の人口一人当たりの金額について、また平成26年度における同様な数値について
- ⑤ 利根東部衛生施設組合で実施している利根町分について、平成17年度のごみの量とそのうち焼却した量と焼却経費総額と当時の人口一人当たりの金額について、また平成26年度における同様な数値について
- ⑥ 焼却施設について1市2か村の施設と利根東部の施設についてそれぞれ今後の使用可能年数と将来的な方向について
- ⑦ 埋め立て施設について上川田処分場と利根東部処分場のそれぞれ今後の使用可能年数と将来的な方向について（右中へ）

広がるゼロ・ウェイスト（ごみゼロ）政策

「ゼロ・ウェイスト」とは、ゼロ（なくす）、ウェイスト（ごみ、無駄や浪費）という意味で、イギリスの経済学者ロビン・マレーが提唱し、「明確な達成目標を設定し、焼却せず、環境負荷を減らしながら、リサイクルと堆肥化でごみを出さないようにする手法のこと」と定義されている。

オーストラリアのキャンベラ市で始まり、アメリカのサンフランシスコ市やニュージーランドの多くの自治体が「ゼロ・ウェイスト宣言」を行い、日本では徳島県上勝町、福岡県大木町、水俣市、葉山町などが宣言しています。具体的には、近い将来にごみを燃やさない、埋め立てないという目標を立て、宣言をして取り組みを進めています。宣言はまだしていなくても、人口10万人未満の市でリサイクル率全国1位（環境省資料）の鹿児島県志布志市は、リサイクル率75.4%で、ごみの焼却は一切していません。廃棄物焼却施設を持たないこの市では、廃棄物処理費用が全国平均の半分で、年間2億7千万円が節約できていると試算し、産業・福祉・教育施策に予算を回しています。

このような市に早くなろうではありませんか。そのためには行政と市民の意識改革が必要になってくると思われます。



（左下から）

イ ゼロ・ウェイスト（ごみゼロ）めざして

- ① ゼロ・ウェイスト（ごみゼロ）についてのお考えについて
- ② 市関係施設及び学校関係施設から排出される廃棄物のリサイクル率について
- ③ 生ごみの完全堆肥化の実施について
- ④ 沼田市環境基本計画の循環型社会の構築の施策のいっそうの具体化と当面のリサイクル率向上に向けてのお考えについて
- ⑤ ゼロ・ウェイスト宣言に向け行政と市民との共同推進組織の設置について

ウ 民間施設について

- ① 佐山町に計画されている民間の一般廃棄物処分場へのお考えについて

2016年6月12日 No.796

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料